

## 第4回岐阜羽島衛生施設組合

### 一般廃棄物処理施設整備・運営事業者選定委員会会議録（要旨）

日 時：令和4年2月24日（木） 14：30～16：30

場 所：岐阜市役所ほか（リモート開催）

出席委員：守富 寛（委員長）、番 勝彦（副委員長）

藤吉 秀昭、二宮 善彦、小林 信介、大成 利広、長屋 敏樹、堀 仁志

欠席委員：三輪 学

事務局：疋田 智（事務長）、不破 勝秀（施設建設推進課長）、施設建設推進課員 3名

アドバイザー（八千代エンジニアリング株式会社） 5名

#### 1 開会

#### 2 議題

##### （1）事業者選定委員会の議題及びスケジュールについて

- ・今後の委員会の議題とスケジュールについて確認した。

##### （2）第3回事業者選定委員会の協議事項について

- ・事務局より、要求水準書に関連する事項として、残さ資源化率と長寿命化総合計画について説明した。
- ・事務局より、落札者決定基準書に関連する事項として、売電と地元雇用の評価内容について説明した。
- ・定量化限度額の設定について、事務局にて再度検討した資料に基づき協議し、定量化限度額の設定はしないが、品質確保の観点から低入札価格調査の導入を事務局にて検討することとした。

##### （3）落札者決定基準について

- ・環境学習について、重要な事項であることから、配点を高く設定することとした。
- ・環境学習について、過度な設備とならない配慮が必要であるとの意見があり、評価内容に補記することとした。
- ・関連施設の活用について、各エリアの機能に合わせたバリアフリー対応による、利便性の高い運営を図ることを、評価内容に補記することとした。
- ・地元雇用への配慮について、幅広い人材として女性や障がい者等の活用と、多様な働き方を図ることを、評価内容に補記することとした。

#### (4) 特定事業の選定について

- ・事務局より、「組合の財政負担見込額による定量的評価」と「DBO方式で実施することの定性的評価」について評価を行い、DBO方式で実施することが適当であると認められることから、「特定事業として選定する」とした総合評価結果を説明した。
- ・定量的評価については、VFM (Value for Money) として、DBO方式で実施する場合は、約2.3% 財政負担の縮減が見込まれる結果となった。
- ・定性的評価については、長期的な視点での業務全体の最適化による公共サービス水準の向上、組合と民間事業者が適正なリスク分担を行うことにより業務目的の円滑な遂行や安定した事業運営の確保が期待できる結果となった。

#### (5) 入札公告について

- ・事務局より、入札公告から落札者の決定までのスケジュールを説明した。
- ・事務局より、入札公告で公表する図書について説明した。
- ・事務局より、入札説明書の内容（予定価格、業務対価の構成、対価の減額措置など）を説明した。

### 3 その他

- ・第5回委員会は令和4年7月頃を予定。

### 4 閉会

以上